第８節　服務及び懲戒
１　服務
２　懲戒
３　兼業
第６章　職員団体
第１節　管理職員等の範囲
第２節　職員団体の登録
第３節　職員団体のための職員の行為
１　在籍専従
２　短期従事
第４節　職員団体等の法人格
１　登録職員団体
２　認証職員団体等
第５節　職員団体との会見
第７章　公平審査
第１節　不利益処分についての審査請求
第２節　勤務条件に関する行政措置の要求
第３節　災害補償の実施に関する審査の申立て及び福祉事業の運営に関する措置の申立て
第４節　給与の決定に関する審査の申立て
第５節　苦情相談
第８章　国際協力
第１節　派遣法による派遣状況
第２節　国際協力・国際交流
１　ＡＳＥＡＮ諸国との国際協力
２　日中韓人事行政ネットワーク事業
３　開発途上国等に対する技術協力
４　マンスフィールド研修
５　外国からの調査訪問対応等
第９章　人事院総裁賞及び各方面との意見交換
第１節　人事院総裁賞
第２節　各方面との意見交換等
１　公務員問題懇話会
２　企業経営者等との意見交換
３　参与との意見交換
４　有識者の職場訪問
第２編　国家公務員倫理審査会の業務
この１年の主な施策及び今後の展望
倫理法及び国家公務員倫理審査会について
第１章　職員の倫理意識のかん養及び倫理的な組織風土の構築
１　職員の倫理意識のかん養
２　倫理的な組織風土の構築
３　公務員倫理に関する広報、意見聴取
第２章　倫理法に基づく報告制度の状況
１　報告制度の概要
２　各種報告書の提出状況等
第３章　倫理法等違反への厳正かつ迅速な対応
１　調査及び懲戒手続の概要
２　倫理法等に違反する疑いがある行為に係る調査及び懲戒の状況

第１編　人事行政

第１部　人事行政この１年の主な動き

Ⅰ　新時代における公務人材マネジメントの実現に向けて～人事行政諮問会議～

デジタル化が進展し、人材戦略の重要性が増大する新たな時代を見据え、優秀な人材を公務に誘致する上で不可欠である人材マネジメントのグランドデザイン構築が急務となっている。

人事院は、これまでも、採用試験実施時期の前倒し、受験可能年齢の引下げ、新たな区分の創設等の試験制度の改善、勤務間のインターバル確保の努力義務化、フレックスタイム制を活用した「勤務時間を割り振らない日」の対象職員の拡大等、異なるバックグラウンド、キャリア意識、人生設計を持つ職員一人一人が躍動でき、Well-beingが実現される公務を目指してきた。

しかし、現在の大きく変容する状況に対応し、公務が直面する国家公務員の人材確保に係る危機的な状況を打破するためには、公務員人事管理全般について更に抜本的な方策を講ずる必要がある。

そこで、人事院は、令和５年９月より公務員人事管理の在り方について、聖域を設けることなく骨太かつ課題横断的な議論を行う各界有識者による会議（「人事行政諮問会議」）を開催し、そこでの議論を踏まえ、公務員人事管理について抜本的なアップグレードに向けた施策を検討することとしている。

令和５年度年次報告書では、第１回から第８回までの当該会議の開催状況及び昨年５月に取りまとめられた中間報告について報告した。本稿では、第９回以降の会議の開催状況及び本年３月に取りまとめられた最終提言について報告するものである。

第１章　人事行政諮問会議の開催状況

人事行政諮問会議は、次の５名の有識者により構成され、令和５年９月から令和７年３月までの間で、計17回開催された。そのうち、中間報告以降に開催された会議の開催状況は、後記１～９のとおりである。

	荒木	尚志　東京大学大学院法学政治学研究科教授
	小林	洋子　国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（ＪＡＸＡ）監事　等
【座長代理】	峰岸	真澄　株式会社リクルートホールディングス代表取締役会長兼取締役会議長
	宮島	香澄　日本テレビ放送網株式会社報道局解説委員
【座　　長】	森田	朗　東京大学名誉教授

（五十音順、敬称略）

なお、各回の議事次第、資料、議事録等については、以下のＵＲＬ及びＱＲコードより閲覧可能となっている。

https://www.jinji.go.jp/civilservicehrmadvisoryboard/index.html

１　第９回（令和６年６月25日）

中間報告を踏まえ、今後の会議において取り扱う事項を以下のテーマとするとともに、各事項の関係性について整理を行った。

①　国家公務員に求められる行動を「行動規範」として明確化
②　職務をベースとした人事制度・運用に基づくマネジメントと報酬水準
③　納得性のある人事評価と適切なフィードバックによる育成
※　「主体的な学びの支援・キャリア開発支援」、「魅力ある勤務環境」及び「採用試験の設計を始めとした採用手法」は、人事院において具体策を検討することとされた。

続いて、「行動規範の明確化」について議論が行われた。中間報告を踏まえ、行動規範の趣旨について、委員間で意見が交わされた。